

## 単元名 かけ算(2)

配当時間 13時間

- 単元の目標 (1) 6, 7, 8, 9, 1の段の九九の唱え方を理解し, アレイ図を使って, 6, 7, 8, 9, 1の段の九九を構成し, それらを唱えることができる。  
 (2) かけ算の意味を正しく理解し, かけ算と具体的場面を結び付けることができる。  
 (3) 6, 7, 8, 9, 1の段の九九作りに関心をもち, 進んで取り組もうとする。

## 標準的な展開例

02040206\_001

【準備等】アレイ図(●が $9 \times 9$ 個並んだ図), 九九カードを作る用紙, p.38のチョコレート図

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 <math>9 \times 9</math>個並んだ●を使って九九の答えを求め, 6の段の九九を構成する。[p.26・p.27]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○並んだ●から, 九九の答えの見付け方を考える。</li> <li>○単元の学習課題をつかむ。</li> <li>★70ページの図をつかって, 6, 7, 8, 9, 1のだんの九九をつくってこう。</li> <li>○アレイ図を使って, かけ算の図を作る問題に取り組む。</li> </ul> <p>○6の段の九九を構成する。</p> <p>2 6の段の九九の唱え方を知り, 練習問題に取り組む。[p.28]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★6のだんの九九をつかって答えをもとめよう。</li> <li>○6の段の九九の唱え方を知る。</li> <li>○6の段の九九を覚える。</li> <li>○「みんなで考える問題」に取り組む。</li> <li>○「練習問題」に取り組む。</li> </ul> <p>3~4 7の段の九九を構成してその唱え方を知り, 練習問題に取り組む。[p.29・p.30]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★7のだんの九九をつくろう。</li> <li>○7の段の九九を構成する。</li> <li>○7の段の九九の唱え方を知る。</li> <li>○7の段の九九を覚える。</li> <li>○「みんなで考える問題」に取り組む。</li> </ul> <p>5~7 8, 9の段の九九を構成してその唱え方を知り, 練習問題に取り組む。[p.31~p.33]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★8のだんと9のだんの九九をつくろう。</li> <li>○8の段と9の段の九九を構成する。</li> <li>○8の段の九九の唱え方を知り, 覚える。</li> <li>○8の7倍を求める問題に取り組む。</li> <li>○「練習問題」に取り組む。</li> <li>○9の段の九九の唱え方を知り, 覚える。</li> <li>○9円の色紙を6枚買ったときの代金を求める問題に取り組む。</li> <li>○「練習問題」に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●の図を示すことにより, 乗法の構成の発展性に気付かせる。</li> <li>p.70「九九づくり」のアレイ図を用いる。</li> <li>アレイ図の使い方をおさえ, 次時からの学習に生かせるようにする。</li> <li>既習の5, 2, 3, 4の段に取り組みせ, 次に6, 7, 8, 9の段の問題に取り組みせる</li> </ul> <p>【評】アレイ図を使って九九を構成する活動を通して, 「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●の図は横に1つずらすと, 縦に並んでいる数だけ増えることをつかませ, <math>6 \times 1</math>から順に作らせる。</li> <li>●の並び方に注目させ, 児童が自力で九九を構成できるようにする。</li> <li>繰り返し九九を唱える時間を取り, 確実に覚えられるようにする。</li> <li>p.69の「カードれんしゅう」を参考に, 習熟させる。</li> </ul> <p>【評】6の段の九九を使って問題を解く活動を通して, 「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●の図の並び方から, 7の段の九九を構成させる。</li> <li>p.70「九九づくり」のアレイ図を用いて, <math>7 \times 1</math>から作らせる。</li> <li>乗数が1増すごとに7ずつ増すことをつかませる。</li> <li><math>7 \times 4</math>や<math>7 \times 7</math>, <math>7 \times 8</math>は特に唱えづらいので, ゆっくり確実に唱えさせる。</li> <li>7の段は特に間違えやすいので, 九九カード等で繰り返し練習し, 正確に覚えさせる。</li> <li>p.69の「カードれんしゅう」を参考に, 習熟させる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>●の図や累加の考え方など, 既習を生かして自分の力で8, 9の段の九九を構成させる。</li> <li>乗数が1増すごとに積は被乗数ずつ増していることから, アレイ図や累加の考え方などを用いて, 自力で九九を構成できるようにさせる。</li> <li>6の段や7の段を構成したときのことを想起させ, 自力で構成できるようにさせる。</li> </ul> <p>【評】8の段の九九を構成する活動を通して, 「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>p.69の「カードれんしゅう」を参考に, 習熟させる。</li> </ul> <p>【評】9の段の九九を構成する活動を通して, 「知識・技能」を評価する。</p> <p>【評】8の段の九九を使って問題を解く活動を通して, 「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>p.69の「カードれんしゅう」を参考に, 習熟させる。</li> </ul> <p>【評】9の段の九九を使って問題を解く活動を通して, 「知識・技能」を評価する。</p>

<p>8 1の段の九九を構成して唱え方を知り、練習問題に取り組む。[p. 34]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★1の段の九九について知ろう。</li> <li>○1の段の九九を構成する。</li> <li>○1の段の九九の唱え方を知る。</li> <li>○「練習問題」に取り組む。</li> </ul> <p>9 生活場面から、かけ算の問題作りをする。[p. 35]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○挿絵を見て、どんな場面かを話し合う。</li> <li>○本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★かけ算のもんだいをつくってはっぴょうしよう。</li> <li>○問題の作り方を知る。</li> <li>○かけ算の問題を作り、発表する。</li> <li>○身の回りからかけ算になる問題を作る。</li> </ul> <p>10 練習問題に取り組む。[p. 36]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「れんしゅう」に取り組む。</li> </ul> <p>11 乗法と加法、減法の組み合わせさせた3要素2段階の問題について考える。[p. 37]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★じゅんに考えていこう。</li> <li>○かけ算とたし算の組み合わせられた問題を考える。</li> <li>○「練習問題」に取り組む。</li> </ul> <p>12 乗法を使って問題を解き、図や式を使って自分の考えを説明する。[p. 38・p. 39]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★同じ数のまとまりに目をつけて、かけ算をつかって考えよう。</li> <li>○かけ算を使って、チョコレートの数を数える。</li> <li>○自分の考えを説明する。</li> <li>○他の人の考えと似ているところや違うところを話し合う</li> </ul> <p>13 単元を振り返り、確認問題に取り組む。[p. 40・p. 41]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「たしかめよう」に取り組む。</li> <li>○学習の振り返りを書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「何個のいくつ分」ということを考えさせて被乗数と乗数をつかませる。</li> <li>・1の段の九九は唱えにくいので、ゆっくりとその語調に慣れさせる。</li> <li>【評】1の段の九九を構成して唱えたり、立式したりする活動を通して、「知識・技能」を評価する。</li> <li>・身の回りから乗法が使える場面を見付け、算数と生活を結び付けることができるようにする。</li> <li>・基準量のいくつ分ということを念頭において考えさせる。</li> <li>・挿絵を示しながら、かけ算の問題の作り方を確認する。</li> <li>・問題が思い浮かばない児童には、挿絵の中から乗法で表せるものを探させてもよい。</li> <li>・ペアで問題を出し合う活動をしてよい。</li> <li>【評】挿絵や身の回りから乗法の問題作りを通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> <li>・積がすぐに出てこない児童には、九九カードを使ったり、●が9×9個並んだ図を使ったりして、九九を確実に唱えさせてから計算させる。</li> <li>・個別指導を重点的に行う。</li> <li>【評】「れんしゅう」に取り組む活動を通して「知識・技能」を評価する。</li> <li>・問題文の中にある数量関係を式に表すことに重点を置いて指導する。</li> <li>・立式できない児童には、数量を取り出したり図に表したりして数量関係をつかみやすくさせる。</li> <li>・必要に応じて個別指導を行う。</li> <li>【評】乗法と加法・減法の複合問題に取り組む活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>・図に書き込み、図や式を示しながら説明させる。</li> <li>・ペア活動をするときよい。</li> <li>・教科書と同じチョコレートの図を用意し、図に書き込みながら考えさせる。</li> <li>・乗法だけでなく、加法・減法も使ってよいことを伝える。</li> <li>・いくつかの解法を考えさせ、多様な考え方を養う。</li> <li>・ペアや全体で、図や式を示しながら発表させる。</li> <li>【評】図や式を使い、乗法を使って問題を解いたり、自分の考えを発表したりする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>・個別指導を通して、単元の学習内容の定着を図る。</li> <li>・自己評価をし、不十分なところは教科書で振り返らせる。</li> <li>【評】問題に取り組む活動を通して、「知識・技能」を評価する。</li> <li>・かけ算について分かったことや面白かったこと、もっとやってみたいことなどを書かせる</li> </ul>
---	--

#### 【 備 考 】

本単元は、6, 7, 8, 9, 1の段の九九を構成し、それを使って問題を解決することを学習する。学習に当たっては、既習事項や●が9×9個並んだ図(アレイ図)を基にして、児童が自分で考えながら九九を構成できるようにする。また、九九を唱えるに当たっては、覚えにくかったり、まぎらわしかったりすることがあるので、ゆっくりと確実に覚えさせることが大切である。

<参考URL>

かけさんの部屋      <http://www.osumi.or.jp/sakata/kakezan/kuizu.htm>